

第143回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	普通預金	売掛金
売買目的有価証券	仮払消費税	満期保有目的債券	買掛金
未払消費税	未払配当金	商品保証引当金	仮受消費税
資本金	資本準備金	利益準備金	新築積立金
繰越利益剰余金	売上	有価証券利息	商品保証引当金戻入
有価証券売却益	仕入	商品保証費	商品保証引当金繰入
租税公課	支払利息	創立費	有価証券売却損

- 11月23日に売買目的で、月極グループ株式会社が発行した額面総額 ¥ 500,000 の社債（年利率：1.2%、利払日：6月末と12月末の年2回）を額面 ¥ 100 につき ¥ 98.50 の裸相場で買い入れ、代金は端数利息とともに現金で支払った。なお、端数利息に関しては1年を365日として日割りで計算すること。
- 当期中に保証書を付して販売した商品について、顧客より無償修理の依頼があったので、提携している業者に修理を依頼し、修理代金 ¥ 30,000 は小切手を振り出して支払った。なお、前期の決算で計上した商品保証引当金の残高は ¥ 20,000 である。
- 会社の設立にあたり、発行可能株式総数 10,000 株のうち 3,000 株を1株あたり ¥ 10,000 で発行し、その全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は普通預金とした。なお、払込金の7割の金額を資本金とすることとした。
- 株式会社定礎は本日、定時株主総会を実施し、繰越利益剰余金 ¥ 4,500,000 を以下のかたちで処分することとした。なお、株式会社定礎の資本金は ¥ 300,000,000、資本準備金は ¥ 52,000,000、利益準備金は ¥ 22,900,000 であり、発行可能株式総数は 8,000 株、発行済株式総数は 2,000 株である。
 - 株主配当金：1株につき ¥ 1,500
 - 利益準備金：会社法が定める金額
 - 新築積立金：¥ 1,200,000
- 本体価格 ¥ 100,000 の商品を10個売り上げ、8%の消費税を含めて代金は掛けとした。なお、消費税については税込方式で記帳すること。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	売買目的有価証券 有価証券利息	492,500 2,400	現金	494,900
2	商品保証費	30,000	当座預金	30,000
3	普通預金	30,000,000	資本金 資本準備金	21,000,000 9,000,000
4	繰越利益剰余金	4,300,000	未払配当金 利益準備金 新築積立金	3,000,000 100,000 1,200,000
5	売掛金	1,080,000	売上	1,080,000